

令和5年度（一社）障がい者武道協会総会議事録

令和5年10月28日（土）

浜松市楽器博物館研修交流センター

議事録署名人大橋千秋



松井完太郎代表理事の挨拶のあと議長に松井完太郎代表理事を満場一致で選出し司会進行を大橋正康副代表理事が行い議事に入った。



議 事

第1号議案令和4年度事業報告・令和5年度事業計画案が説明され審議された。・・・承認

第2号議案令和4年度収支報告 監事の花井和夫監事が体調不良のため急遽欠席となり大橋広子事務局員が監査報告をした。・・・承認

令和5年度収支予算案につき説明がされ審議に入った。・・・承認

第3号議案 その他

1. 次回開催日、開催地について

会員関係者が集まりやすく費用がかからない場所と日時について検討され審議された結果、令和6年10月26日（土）浜松市案が出された。・・・承認

2. 世界の関係者も Online で参加との案が提出され Online 理事会が提案された。・・・承認

3. 世界の関係者との Online 理事会参加につき顧問であるスウェーデンのポンタス・ジョハンソン顧問と Online 協議の結果承諾を得た。

以上、総会審議が無事終了した。



発 表

「新たな武道の稽古手法」 松井完太郎国際武道大学学長

新型コロナウイルスにより対面での活動が抑制される中で「Online 活動」というツールも手に入れた。折角手に入れたものを大切にして更に活動を効果的に推進！（第56回日本武道学会障害者武道専門分科会資料から）



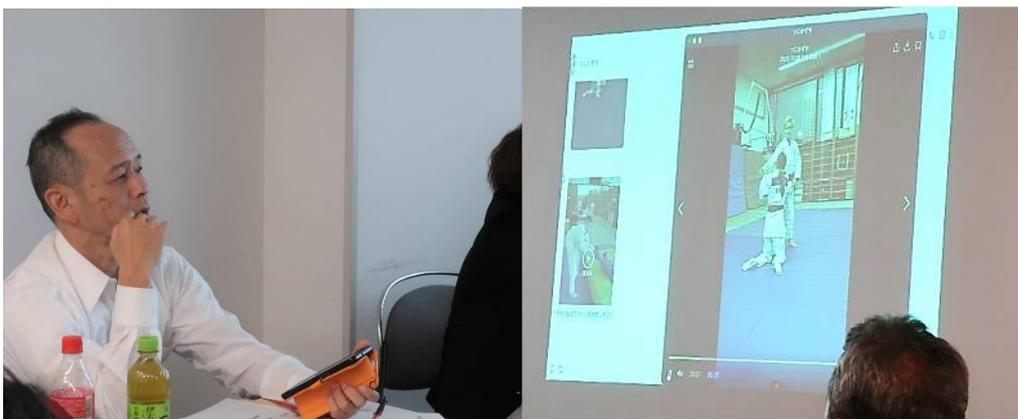
日本武道学会で発表した動画は、下記のアド

レスからご覧いただけます。

<https://youtu.be/8MxOmSGYmT0>

「クロアチアの障害者武道・柔道」 社会福祉法人わらしべ会 辻和也理事長

脳性麻痺の障害を持った方の柔道は、日本にはなく世界でもクロアチアとポントス顧問のところのみではないかと考え稽古手法を視察交流した。



PS:意見交換会・懇親交流会

1.2023 世界拳法選手権大会・国際会議（アフリカ・チュニジア）

①障がい者の扱い…インクルーシブされた大会で「障がい者」という言葉を使わない。

②国際会議において女性役員の登用について。

③学校制度において競技大会に参加した時の「出席扱い」

・諸事情から考えると「欠席扱いにしない」が良い方法

・オリパラや競技人口で考えるのは、どうだろうか？スキージャンプの競技人口世界は、1400人 日本は、350人。パラの視覚障害者柔道も同じ事が言える。

2.正座、体育すわり、整列が幼稚園や学校では、禁止され始めている。

武道では、正座は、当然に事だが学校では、体罰とみなされる。まして、叩くなど大問題になる。この日本の流れを考慮すると優秀な職員を守るためにも正座や体罰と思われがちな行為は、禁止せざるおえないのでは？

4. 過去から未来を設定するのではなく未来の設定をして今を頑張る事が大切。Etc

以上